統計の眼

転換期を迎えた世界の協同組合

現在の協同組合組織は、一九世紀にヨーロッパで始まり、その後世界各地に広まっていった。そして、今ではヨーロッパをはるかにしのぐ規模で協同組合組織が世界中で展開している（表）。特に、少なくとも数の上では、アジアが協同組合における世界の中心となっている。ＩＣＡ（国際協同組合同盟）に加入している世界の協同組合のうち、組合数の八三％、組合員数の六四％がアジア・太平洋地域に集中している。

中でもインドは世界一協同組合組織の規模が大きな国で、組合数は四三・一万（世界の四五％）と抜きんでており、組合員数でも一・七五億人（同二二％）に達している。組合員数において次いで大きいのは中国で、一・六億人となっている。このアジアの二国だけで、組合数では世界の四八％、組合員数では世界の四二％を占めてしまう。

意外なことに、世界第三位の組織規模を持つのは米国で、組合数は二・八万、組合員数は何と一・五億人に達する。人口（二・七億人）に対する組合員の比率という点でも、世界屈指の協同組合国家である。

次に、協同組合を種類別に見ると、アジア・太平洋地域では最も多いのが農業協同組合で全体の三七％、次に多いのが多目的組合で全体の二一％を占めている。後者の多くは農業に関係する活動を行っていると考えられる。アジアの協同組合は過半が農協組織といえそうである。

世界が財政主導型から市場主導型の経済システムへと転換している中で、各国の協同組合政策も大きく変わりつつある。政府支援の下で世界中に展開した協同組合も、大いなる変革の時にある。（須田）

ICA加盟の協同組合

	地域・国	組合数	対世界合計（%）	組合員数（千人）	対世界合計（%）
世界合計		**961,029**	**100.0**	**798,513**	**100.0**
ヨーロッパ		**93,478**	**9.7**	**100,825**	**12.6**
うち	イギリス	58	0.0	8,258	1.0
	フランス	10,052	1.0	13,421	1.7
	ドイツ	7,331	0.8	8,748	1.1
	ポーランド	11,244	1.2	6,092	0.8
	ロシア	4,757	0.5	12,578	1.6
	イギリス	58	0.0	8,258	1.0
アフリカ		**29,577**	**3.1**	**12,849**	**1.6**
うち	エジプト	6,992	0.7	4,275	0.5
	ケニヤ	3,433	0.4	2,700	0.3
	セネガル	732	0.1	2,519	0.3
アメリカ		**40,761**	**4.2**	**177,066**	**22.2**
うち	ブラジル	5,081	0.5	3,828	0.5
	カナダ	5,291	0.6	18,621	2.3
	合衆国	27,509	2.9	150,692	18.9
アジア・太平洋		**797,213**	**83.0**	**507,773**	**63.6**
うち	バングラデシュ	130,022	13.5	7,477	0.9
	中国	32,000	3.3	160,000	20.0
	インド	431,361	44.9	174,820	21.9
	日本	7,962	0.8	56,009	7.0
	韓国	4,634	0.5	13,969	1.7
	パキスタン	61,931	6.4	9,392	1.2
	タイ	3,744	0.4	5,844	0.7
	ベトナム	42,500	4.4	20,000	2.5

出所）ICAの年次報告から作成。基本的に1996－97年度の数値だが、データ不明の国、1992－94年の古いデータを使っている国がある。